

交換職-操作マニュアル

■本資料は、お買い上げ頂いた交換職の操作方法を説明するものです。

改版履歴

版数	更新内容
1.0 版	新規作成
1.1 版	バージョン 1.1.0 に合わせて更新
2.0 版	バージョン 1.3.0 に合わせて更新
2.1 版	バージョン 1.4.0 に合わせて更新
2.2 版	バージョン 1.5.0 に合わせて更新
2.3 版	交換職の電源を切る手順を更新
2.4 版	バージョン 1.5.3 に合わせて更新
2.5 版	「FAX を受信する」の記述を改善
2.6 版	本文中の記載について、軽微な修正
2.7 版	バージョン 1.7.0 に合わせて更新
2.8 版	バージョン 1.8.0 に合わせて更新

目次

1. ■電源を入れる・切る	1
1.1. 交換機の電源を入れる	1
1.2. 交換機の電源を切る	1
1.3. 交換機を再起動する	3
2. ■電話を受ける・かける	5
2.1. 会社の電話機で電話を受ける	5
2.1.1. 「着信先ガイダンスを利用」の場合	5
2.1.2. 「接続音を再生後、自動で通話開始」の場合	9
2.1.3. 「接続音なしで、すぐに通話開始」の場合	11
2.1.4. TEL&FAX 番号への電話を受ける	12
2.1.5. FAX を受信する	13
2.1.6. 社員からの電話を受ける	14
2.2. 転送された電話を受ける（携帯接続・無料通話機能を利用）	15
2.3. 転送された電話を受ける（転送にひかり電話回線を利用）	17
2.3.1. 発信元ガイダンスを利用する	17
2.3.2. 発信元ガイダンスを利用しない	19
2.4. 電話をかける	20
2.4.1. 【電話機 1】ポートのアナログ電話機からかける	20
2.4.2. IP 内線からかける	22
2.4.3. 転送先の携帯電話で会社の電話番号を通知して電話をかける	24
2.4.4. 転送先の携帯電話から会社へ電話をかける	24

3. ■特番を利用する	25
3.1. 不在設定・解除 (90、91)	25
3.2. 電話機の呼び出し時間の変更 (92)	26
3.3. 携帯電話の呼び出し時間の変更 (93)	27
3.4. 着信先ガイダンスの音声の入れ替え (94)	28
3.5. 携帯番号登録 (95)	29
3.6. 交換職のバージョン読み上げ (96)	29
3.7. 交換職の IP アドレス読み上げ (97)	30
3.8. 交換職の時刻設定 (98)	30
3.9. 留守番電話メニュー (99)	31
4. ■短縮番号を設定する	34
4.1. 電話機から短縮番号を設定する	34
4.2. Web 設定画面から共有の短縮番号を設定する	34
5. ■携帯電話の電話帳を取り込む.....	37
6. ■通知メールを利用する	41
6.1. 通知メールを確認する.....	41
6.2. マイ番号に登録した携帯電話からコールバックする	42
7. ■「Web 設定画面」のログインパスワードを変更する	43
8. ■設定のバックアップと復元	44
8.1. 設定バックアップ	44
8.2. 設定の復元.....	45
8.3. 設定の初期化	46
9. ■ファームウェアを更新する	47

10.	■ログを取得する.....	49
11.	■故障かな？と思ったら.....	50
11.1.	携帯電話へ転送されない.....	50
11.2.	転送された電話を携帯電話で受けることができない.....	50
11.3.	FAX を受信できない.....	50
11.4.	通知メールを受信できない.....	50
11.5.	電話機が鳴らない.....	51
11.6.	利用できていた電話番号に電話がかからなくなった.....	51
11.7.	外線発信時に応答後転送機能が使えない.....	51
11.8.	故障などで交換機の利用を中止する.....	52
12.	■操作一覧.....	53
12.1.	アナログ電話機、IP 内線の操作.....	53
12.2.	携帯電話（転送先）の操作.....	54

【セキュリティ注意事項】

SIP ポートに対する攻撃が確認されています。ひかり電話ルータのルーティング設定等を変更して、外部から交換機にアクセスできる状態にしていると、第 3 者に電話回線を不正に使われてしまい、高額な通話料金を請求される恐れがあります。

本製品を利用するにあたり、外部から交換機にアクセスできる状態にして使用しないで下さい。

【警告】

誤った取り扱いをすると、人命にかかわる可能性のある事項や、負傷する可能性がある事項について以下に記載します。

- 風呂・シャワー室や、水のかかる場所に本製品を設置しないで下さい。
- 本製品のそばに、小さな金属類を置かないで下さい。本製品の中に入ると、発火の原因となります。
- 機器を接続する時は、接続する機器同士の電源プラグをコンセントから抜いて実施して下さい。
- 万が一、煙が出る、変なにおいがする等の異常が発生した場合は、LAN ケーブルと AC アダプタを抜いて、本製品の利用を中止して下さい。
- 万が一、本製品に水や異物が入ってしまった場合は、LAN ケーブルと AC アダプタを抜いて、本製品の利用を中止して下さい。
- 付属の AC アダプタ以外は使用しないで下さい。また、本製品の AC アダプタを他の機器で使用しないで下さい。
- AC アダプタは、風通しの悪い場所や、狭い場所に設置しないで下さい。
- 電源コードが傷んだ場合は、LAN ケーブルと AC アダプタを抜いて、本製品の利用を中止して下さい。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理にねじったりしないで下さい。
- 本製品を破損してしまった場合は、LAN ケーブルと AC アダプタを抜いて、本製品の利用を中止して下さい。
- 本製品をご利用の際は、たこ足配線にしないで下さい。
- 商用電源以外は使用しないで下さい。
- 本製品を分解したり、改造したりしないで下さい。
- ぬれた手で本製品をさわったり、AC アダプタや LAN ケーブルの抜き差しをしないで下さい。

【注意】

誤った取り扱いをすると、負傷したり、物的損害が発生する可能性がある事項について以下に記載します。

- 火気のそばに設置しないで下さい。
- 温度の高い場所に設置しないで下さい。
- 湿度の高い場所に設置しないで下さい。
- 油とびや、湯気のあるところに設置しないで下さい。
- 不安定な場所に設置しないで下さい。
- 本製品を重ね置きしないで下さい。
- 結露が発生するため、温度変化の激しい場所には設置しないで下さい。
- 本製品に乗らないで下さい。
- 医療、軍事目的等、高い信頼性を要求されるシステムには利用しないで下さい。
- 本製品を分解しないで下さい。
- 本製品を利用中は発熱します。本製品に長時間触れないで下さい。
- AC アダプタは、コンセントに確実に差し込んで下さい。抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。
- AC アダプタとコンセントとの間のほこりは定期的に取り除いて下さい。
- 長時間使用しない場合は、LAN ケーブルと AC アダプタを抜いて下さい。

【お願い】

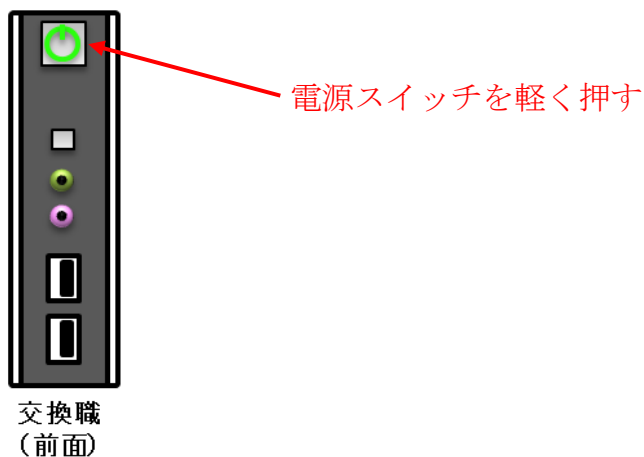
誤った取り扱いをすると、本製品の機能が低下、停止する可能性がある事項について以下に記載します。

- 落雷の恐れがあるときは、AC アダプタを抜いて、本製品の利用を控えて下さい。
- 本書に従って、設置、設定を実施して下さい。
- 本製品を電子レンジのそば等電磁波が発生するところや、磁気を帯びているところに設置しないで下さい。
- 本製品に虫が入らないようにご注意ください。
- 本製品の利用中は、LAN ケーブルや AC アダプタのコネクタ部分に触れないで下さい。
- 落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
- 本製品をお手入れする際は、必ず AC アダプタをコンセントから抜いて実施して下さい。
- 本製品のお手入れには、ベンジン、シンナー等の有機溶剤や、アルコールは使用しないで下さい。

1. ■ 電源を入れる・切る

1.1. 交換職の電源を入れる

AC アダプタをコンセントへ挿入し、電源スイッチを押すと電源が入ります。システムの起動が完了するまでに約 1 分 30 秒程度の時間がかかります。**(AC アダプタのコンセントへの挿入は、全ての機器の接続が完了してから実施して下さい。機器の接続方法は「交換職・設定マニュアル（導入・設置編）」を参照して下さい)**



なお、電源を切る直前まで Bluetooth で交換職に接続していた携帯電話については、システムの起動が完了して 1 分以内に再度接続されます。

1.2. 交換職の電源を切る

電源スイッチを押す方法と、交換職の「Web 設定画面」で電源を切る方法の 2 つの方法があります。

電源スイッチを押す場合は、スイッチを軽く押し、「カチッ」と音がしたらスイッチから手を離して下さい。その後 10 秒程待ち、電源スイッチの緑色のランプが消灯して電源が切れたことを確認して下さい。

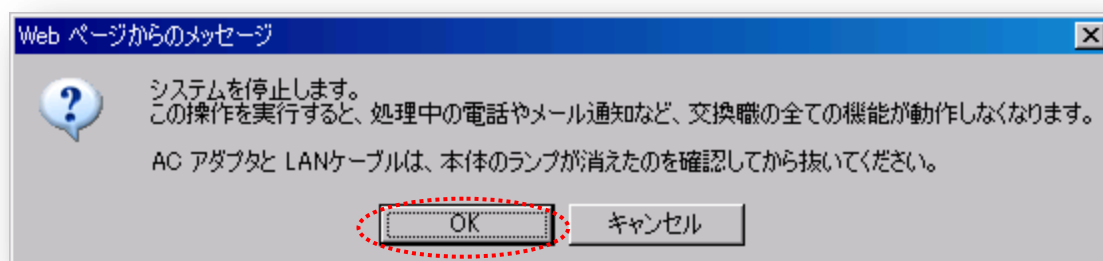
交換職の「Web 設定画面」から電源を切る場合、次の手順に従い実施して下さい。

1. 「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、「システム停止の実行」をクリックして下さい。

システム管理

システム情報	システムバージョン 	1.3.0
	DB バージョン 	4
ログ取得	動作ログ 	現在保持されているログをダウンロードします。 
設定保存 / 復元	設定保存 	現在の設定、および音声データをバックアップダウンロードします 
	設定復元 	バックアップファイルを指定して、設定を復元します  
パスワード	パスワード変更 	Web ログイン用のパスワードを変更します 現在のパスワードを入力してください <input type="password"/> 新しいパスワードを入力してください。 確認のため、同じものを2回入力して実行ボタンを押してください <input type="password"/> <input type="password"/> 
停止 / 再起動	停止 	交換機を停止します。 
	再起動 	交換機を再起動します。 
設定初期化	初期化 	工場出荷時の状態にします 
ファームウェア	適用 	ファームウェアを適用して、システムに反映させます  

2. 次のダイアログが表示されるので「OK」をクリックすると電源が切れます。（交換機前面の電源スイッチのランプが消えることを確認して下さい。）



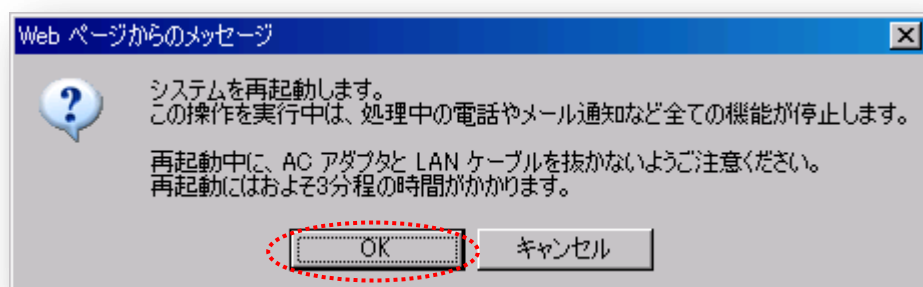
1.3. 交換職を再起動する

1. 交換職の「Web 設定画面」のメニューから、「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、「システム再起動の実行」をクリックして下さい。

システム管理

システム情報	システムバージョン 	1.3.0
	DBバージョン 	4
ログ取得	動作ログ 	現在保持されているログをダウンロードします。 
設定保存 / 復元	設定保存 	現在の設定、および音声データをバックアップダウンロードします 
	設定復元 	バックアップファイルを指定して、設定を復元します  
パスワード	パスワード変更 	Web ログイン用のパスワードを変更します 現在のパスワードを入力してください  新しいパスワードを入力してください。 確認のため、同じものを2回入力して実行ボタンを押してください   
停止 / 再起動	停止 	交換職を停止します。 
	再起動 	交換職を再起動します。 
設定初期化	初期化 	工場出荷時の状態にします 
ファームウェア	適用 	ファームウェアを適用して、システムに反映させます  

2. 次のダイアログが表示されるので「OK」をクリックして下さい。



3. 次の画面が表示され、約 3 分後に再起動が完了します。再起動完了後、次の画面のリンクをクリックすると交換機の「Web 設定画面」に再度ログインすることができます。

システム管理

再起動を行っています。

AC アダプタと LAN ケーブルが抜けがないよう注意してください。

再起動後のネットワーク情報は以下の通りです。

LED の点灯状況を確認してから、アクセスしてください。

ネットワーク情報	再起動後の設定画面 URL	http://192.168.1.254/
	IP アドレス	192.168.1.254
	ネットマスク	255.255.255.0

リンクをクリック
すると交換機の
「Web 設定画面」
に再度ログインで
きます

2. ■ 電話を受ける・かける

2.1. 会社の電話機で電話を受ける

❗ ご確認下さい

「2.1.1」～「2.1.3」については、交換機の「動作基本設定」の設定により、次のページを確認して下さい。

「着信先ガイダンスを利用」の場合 5 ページ

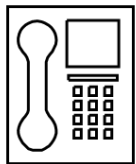
「接続音を再生後、自動で通話開始」の場合 9 ページ

「接続音なしで、すぐに通話開始」の場合 11 ページ

2.1.1. 「着信先ガイダンスを利用」の場合

A) 電話に出て通話する

① 電話機が鳴ります



受話器を
上げる

② 誰宛の電話か、ガイダンスを聞きます

マイ番号「X」にお電話が入っています



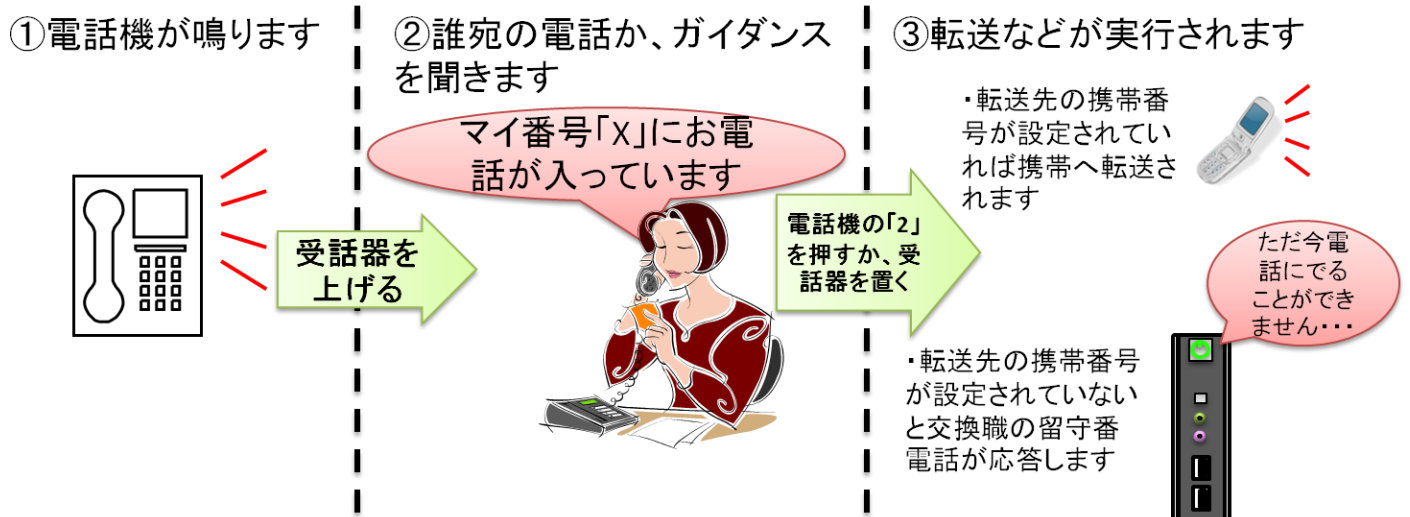
電話機の
「1」を押す

③ 通話を開始します

はい、〇×株式会社の～です



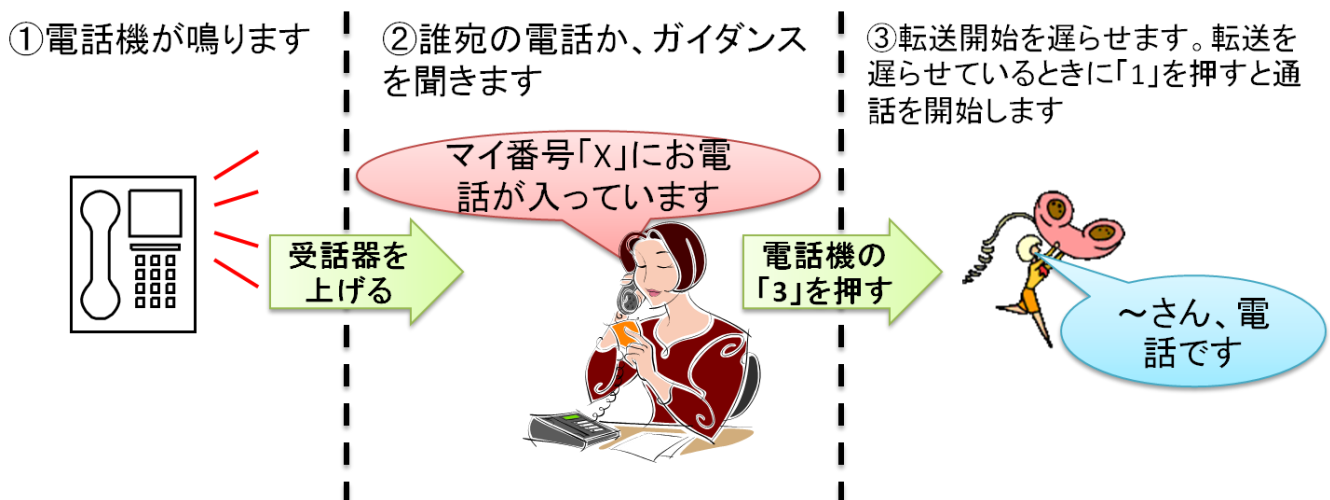
B) 着信先ガイダンスを聞いてから 転送 or 留守番電話



② ヒント

留守番電話を利用しない設定の場合、留守番電話の代わりに「プープープー」という話中音が鳴ります。

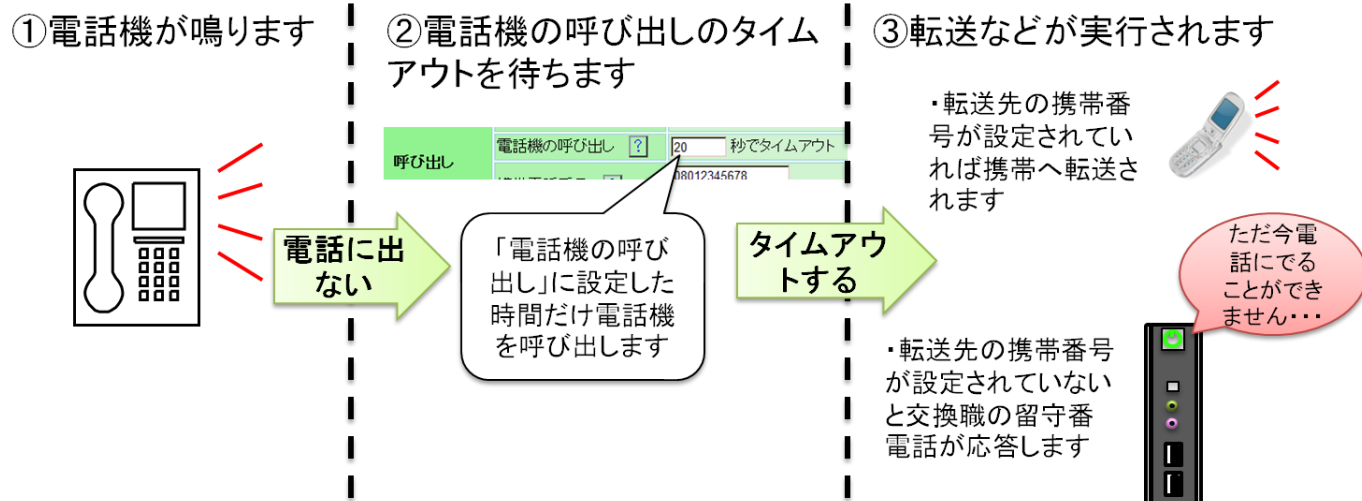
C) 転送開始を遅らせる



② ヒント

取り次ぎに時間を要する場合等に、転送開始を遅らせて下さい。また、転送開始を遅らせているときに「3」を押せば、転送開始をさらに遅らせることができます。

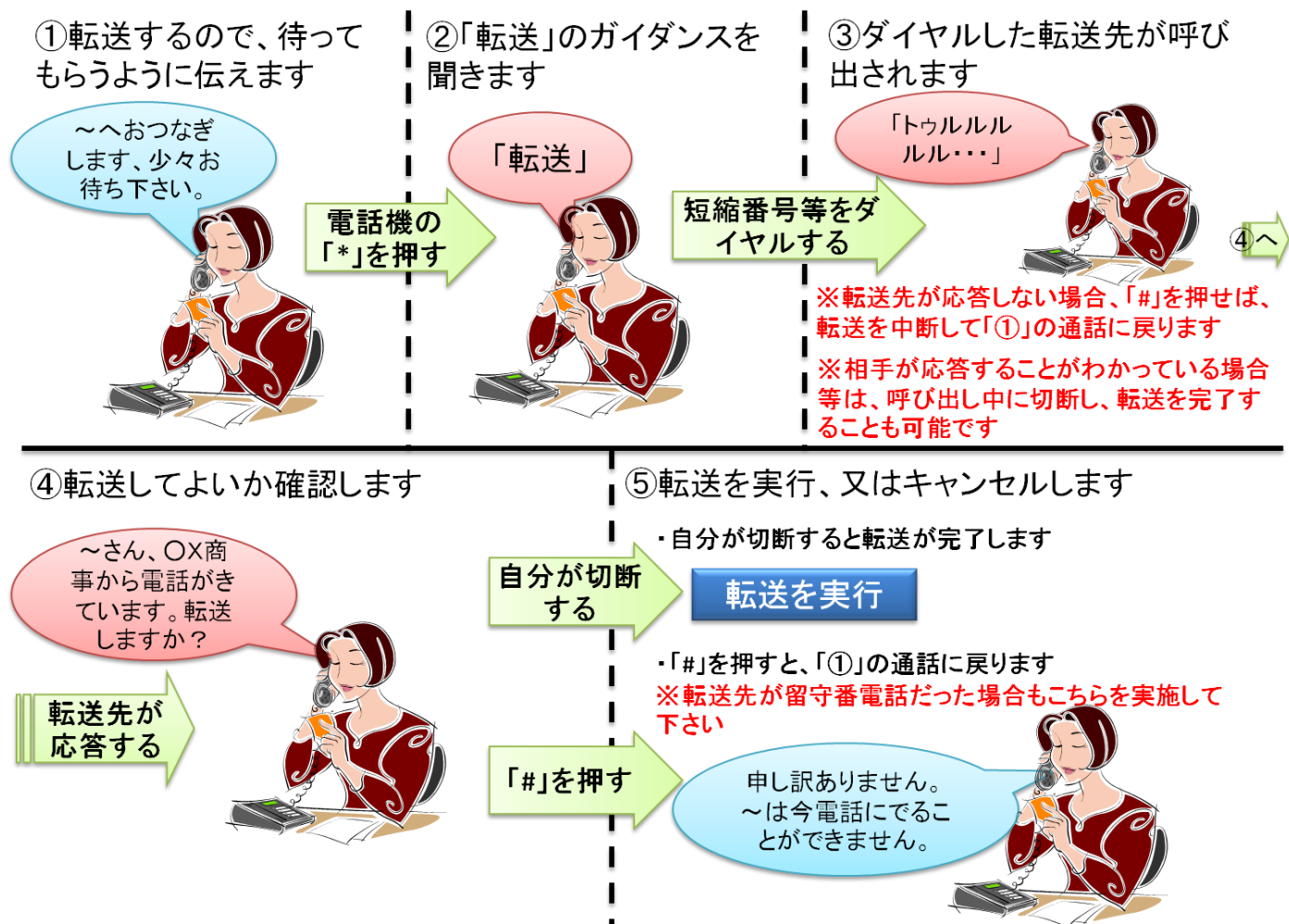
D) 電話に出ないで 転送 or 留守番電話



② ヒント

留守番電話を利用しない設定の場合、留守番電話の代わりに「プープープー」という話中音が鳴ります。

E) 通話中に転送する



2.1.2. 「接続音を再生後、自動で通話開始」の場合

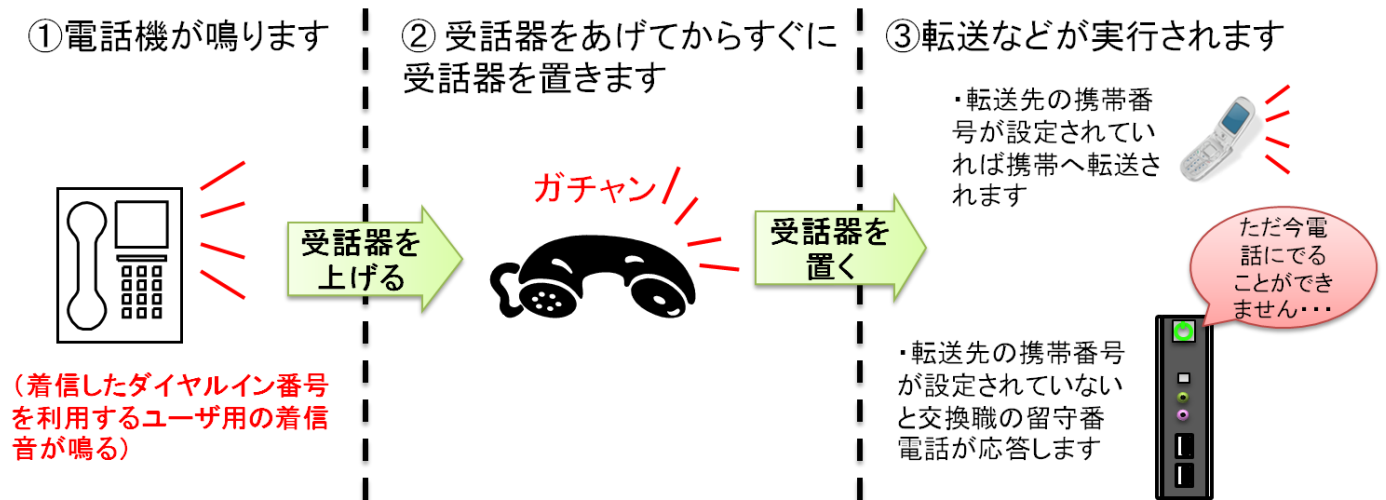
A) 電話に出て通話する



B) 電話に出ないで 転送 or 留守番電話

7 ページと同様の手順で実施することができます。

C) 呼び出しタイムアウトを待たずに 転送 or 留守番電話



② ヒント

留守番電話を利用しない設定の場合、留守番電話の代わりに「プープープー」という話中音が鳴ります。

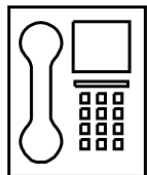
D) 通話中に転送する

8 ページと同様の手順で実施することができます。

2.1.3. 「接続音なしで、すぐに通話開始」の場合

A) 電話に出て通話する

①電話機が鳴ります



受話器を
上げる

②ガイダンスや「ピッ、ピッ、ポーン」
はなく、即座に通話を開始します



B) 電話に出ないで 転送 or 留守番電話

7 ページと同様の手順で実施することができます。

C) 通話中に転送する

8 ページと同様の手順で実施することができます。

❗ ご確認下さい

交換機の Web 設定画面「利用者設定」において、マイ番号「1」の設定項目「電話機タイプ」を「FAX 兼用」にした場合のみ、マイ番号「1」宛の電話は次のように受けます。

A) 電話に出て通話する

①FAX 機能付き電話機が鳴ります



受話器を
上げる

②ガイダンスや「ピッ、ピッ、ポーン」はなく、即座に代表番号宛の通話を開始します

はい、〇×株式
会社です



B) 電話に出ないで 留守番電話

①FAX 機能付き電話機が鳴ります



電話に出
ない

②FAX 機能付き電話機が自動応答するまで放置します



電話機が
自動応答
する

③FAX 機能付き電話機の留守番電話が応答します



ただ今電
話にでる
ことができ
ません...

C) 通話中に転送する

8 ページと同様の手順で実施することができます。

2.1.5. FAX を受信する

A) FAX 専用番号への FAX を受信する

[電話機 2] ポートに接続した FAX 機器で、通常の FAX 受信と同様に FAX を受信します。詳細は、FAX 機器の取扱説明書等を参照して下さい。

B) TEL&FAX 番号への FAX を受信する (FAX 検出機能を利用する)

- 交換機の「転送」や「留守番電話」が動作する前に、FAX 機能付き電話機で応答した場合
通常の FAX 受信と同様に FAX を受信します。詳細は、FAX 機能付き電話機の取扱説明書等を参照して下さい。
- 交換機の「転送」や「留守番電話」が動作する前に、IP 内線で応答した場合
IP 内線で「#9」を押すと、交換機の「利用者設定」で「FAX 転送先」に設定した FAX 機器に転送されるので、転送先の FAX 機器で受信して下さい。なお、「#9」を押すとすぐに IP 内線の通話は切断されます。
- 電話機に応答しない場合や不在設定等により「転送」や「留守番電話」が動作した場合
次のタイミングで交換機の FAX 検出機能が動作し、交換機の「利用者設定」で「FAX 転送先」に設定した FAX 機器を自動で呼び出します。
 - ・転送開始後、転送中の保有音を流すタイミング（転送時の保留音を有効にしている場合）
 - ・転送先の携帯電話が応答したタイミング
 - ・交換機の留守番電話が応答したタイミング呼び出された FAX 機器が自動で応答する等して FAX を受信します。

C) TEL&FAX 番号への FAX を受信する (FAX 検出機能を利用しない)

- FAX 機能付き電話機で応答した場合、FAX 機能付き電話機が自動応答した場合
通常の FAX 受信と同様に FAX を受信します。詳細は、FAX 機能付き電話機の取扱説明書等を参照して下さい。
- IP 内線で応答した場合
IP 内線で「#9」を押すと、[電話機 1] ポートに接続した FAX 機器機能付き電話機に転送されるので、転送先の FAX 機能付き電話機で受信して下さい。なお、「#9」を押すとすぐに IP 内線の通話は切断されます。

2.1.6. 社員からの電話を受ける

転送先リストに登録した番号や、マイ番号に登録した社員の携帯電話から会社へ電話があると、交換機に接続したスピーカから「マイ番号 X からお電話が入っています（X は 1 ～ 5 のマイ番号）」というガイダンスが流れ、社員からの電話であることを内勤の方へお知らせします。会社の電話機で応答すると、すぐに社員との通話が始まります。

2.2. 転送された電話を受ける（携帯接続・無料通話機能を利用）

② ヒント

交換機に接続した Bluetooth 携帯の回線で転送する場合、転送先の携帯電話に表示される発信者番号は、Bluetooth 携帯の番号になります。

① ご確認下さい

FAX 検出機能が有効で転送中の保留音が無効である場合、FAX も携帯電話へ転送されます。このとき、携帯電話で通話開始のタイミングで、交換機が携帯電話との通話を自動切断します。これは、FAX を受信するため FAX 機を呼び返す動作をしており、異常ではありません。

A) 電話に出て通話する

① 転送された電話が着信し、携帯電話になります



通話ボタンを押す

② 発信元ガイダンスの設定により「ピッ、ピッ、ポーン」又は「～から」を聞きます

「ピッ、ピッ、ポーン」

短縮番号XXXから、お電話が入っています

聞き終わる

③ 通話を開始します

はい、〇×株式会社の～です



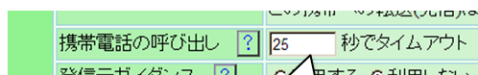
B) 電話に出ないで 留守番電話

①転送された電話が着信し、携帯電話になります



電話に出ない

②携帯電話の呼び出しのタイムアウトを待ちます



「携帯電話の呼び出し」に設定した時間だけ携帯電話を呼び出します

タイムアウトする

③交換機の留守番電話が応答します



ただ今電話にできません...

? ヒント

留守番電話を利用しない設定の場合、留守番電話の代わりに「プープープー」という話中音が鳴ります。

C) 呼び出しタイムアウトを待たずに 留守番電話

①転送された電話が着信し、携帯電話になります



通話ボタンを押す



「ピッ、ピッ」

②通話ボタンを押してから、すぐに切断ボタンを押します

切断ボタンを押す

③交換機の留守番電話が応答します



ただ今電話にできません...

? ヒント

留守番電話を利用しない設定の場合、留守番電話の代わりに「プープープー」という話中音が鳴ります。

2.3. 転送された電話を受ける（転送にひかり電話回線を利用）

② ヒント

ひかり電話回線で転送する場合、転送先の携帯電話に表示される発信者番号は、転送元のひかり電話の番号になります。

① ご確認下さい

FAX 検出機能が有効で転送中の保留音が無効である場合、FAX も携帯電話へ転送されます。このとき、携帯電話で通話開始のタイミングで、交換機が携帯電話との通話を自動切断します。これは、FAX を受信するため FAX 機を呼び返す動作をしており、異常ではありません。

2.3.1. 発信元ガイダンスを利用する

① ご確認下さい

発信元ガイダンスを利用しない場合は、19 ページを参照して下さい。

A) 電話に出て通話する

① 転送された電話が着信し、携帯電話になります



通話ボタンを押す

② 誰からの電話か、ガイダンスを聞きます

短縮番号XXXから、お電話が入っています



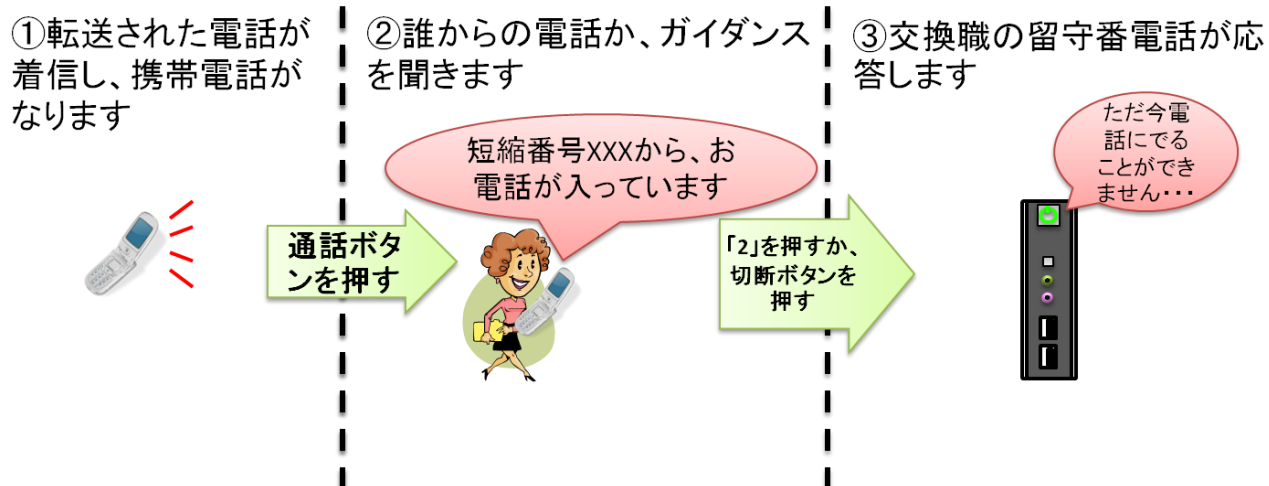
「1」を押す

③ 通話を開始します

はい、〇×株式会社の～です



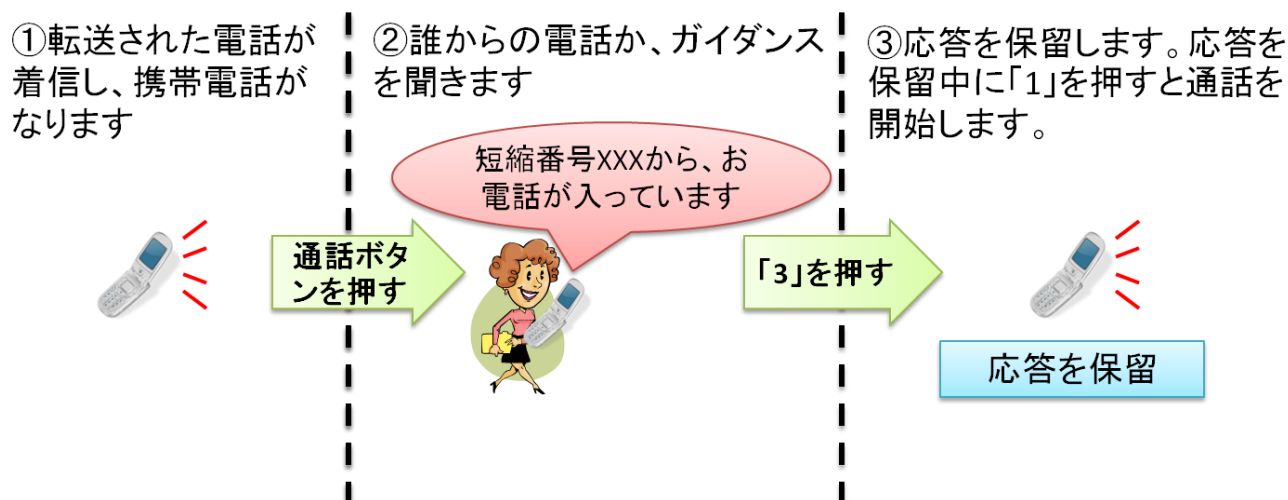
B) 発信元ガイダンスを聞いてから 留守番電話



? ヒント

留守番電話を利用しない設定の場合、留守番電話の代わりに「プープープー」という話中音が鳴ります。

C) 応答を保留する



? ヒント

応答を保留中に「3」を押せば、さらに応答の保留を延長することができます

D) 電話に出ないで 留守番電話

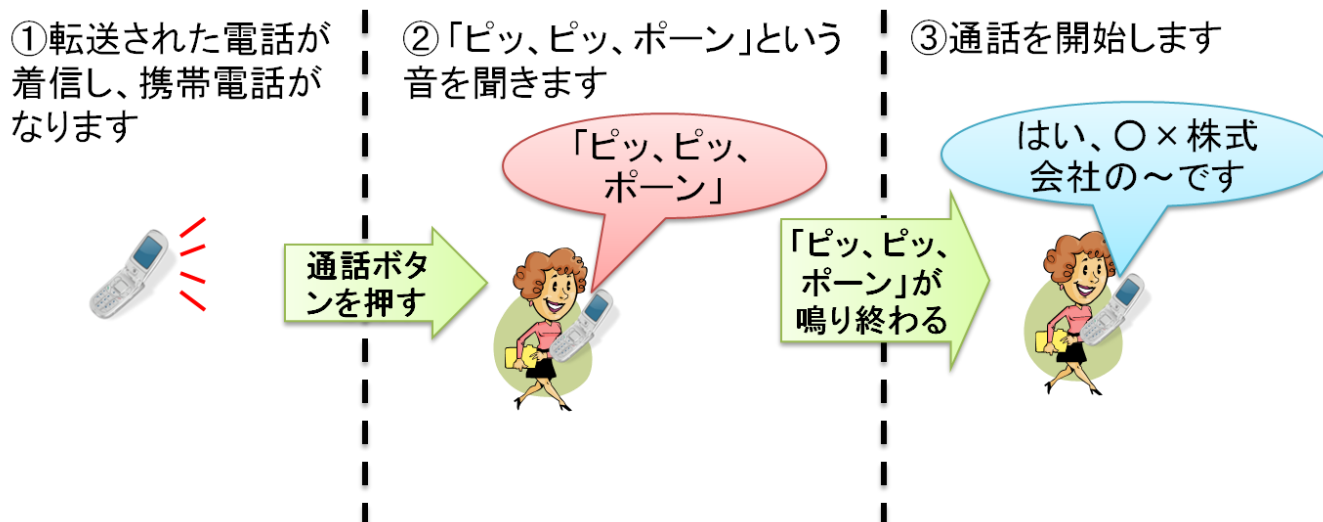
16 ページと同様の手順で実施することができます。

2.3.2. 発信元ガイダンスを利用しない

❗ ご確認下さい

発信元ガイダンス機能を利用する場合は、17 ページを参照して下さい。

A) 電話に出て通話する



B) 電話に出ないで 留守番電話

16 ページと同様の手順で実施することができます。

C) 呼び出しタイムアウトを待たずに 留守番電話

16 ページと同様の手順で実施することができます。

2.4. 電話をかける

2.4.1. [電話機 1] ポートのアナログ電話機からかける

A) マイ番号経由で発信する



② ヒント

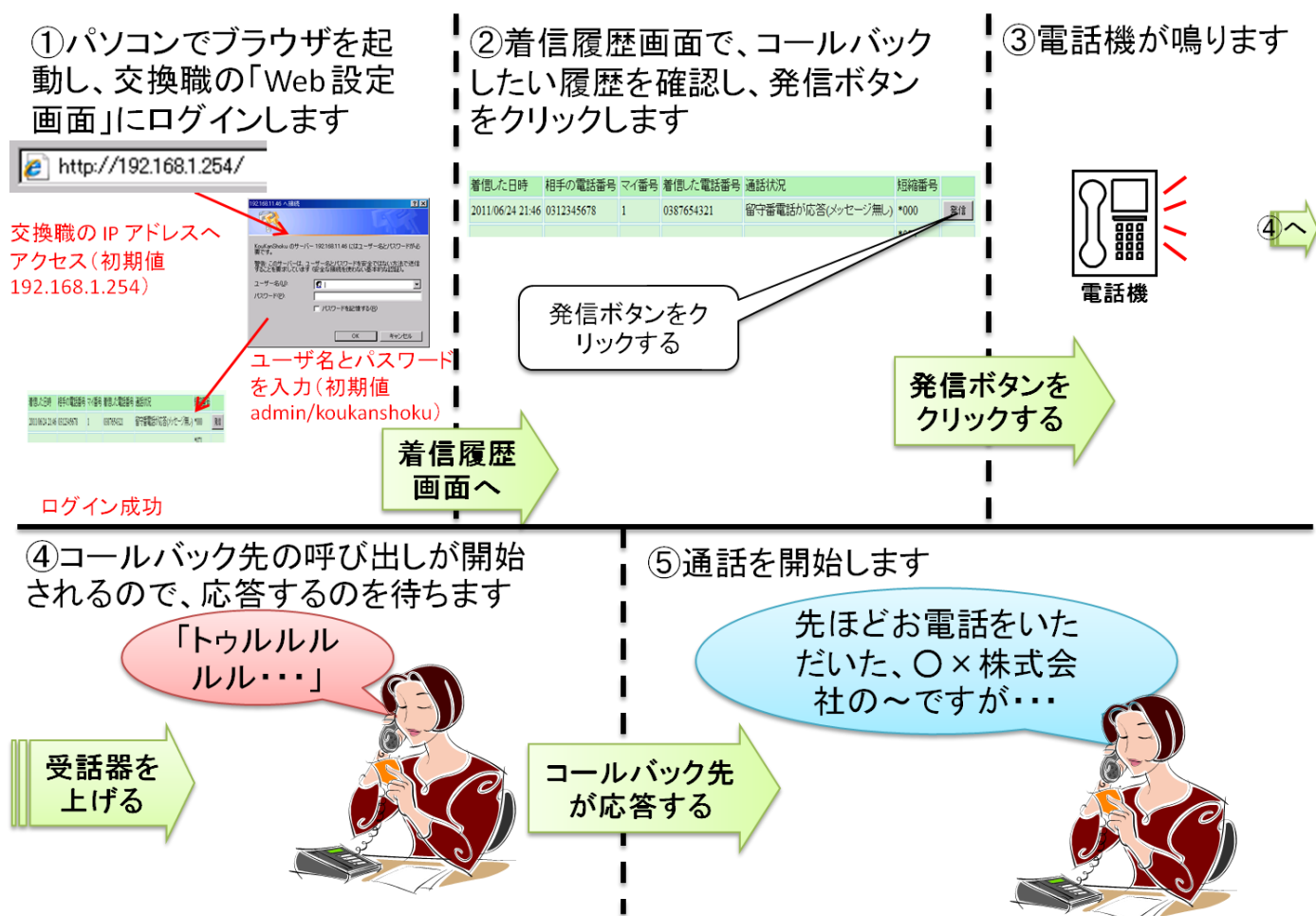
相手に通知される発信者番号は、マイ番号に対応するひかり電話の電話番号となります。

B) マイ番号にかけずに直接発信する

通常の電話機と同じように、「03-XXXX-YYYY」といった外線番号を直接ダイヤルして発信することも可能です。ただし、マイ番号を経由しないで直接発信すると、交換機の「短縮ダイヤル機能」「取り次ぎ転送機能」や「特番への発信」「IP 内線への発信」はご利用いただけません。

なお、発信者番号は、ひかり電話ルータの「内線設定(アナログ端末 1)」の設定で、「通知番号」に設定した番号が通知されます。

C) 交換職の「Web 設定画面」の「着信履歴」からコールバックする



? ヒント

着信履歴からのコールバック時、相手に通知される発信者番号は、着信したダイヤルイン番号になります。

D) 通話中に転送する

8 ページと同様の手順で実施することができます。

! ご確認下さい

交換職の「動作基本設定」において、「外線発信時のプッシュ操作」を「利用する」に設定している場合、発信時は 8 ページの手順で転送することができません。

2.4.2. IP 内線からかける

A) マイ番号経由で発信する

20 ページと同様の手順で実施することができます。

また、「マイ番号 + * + 外線番号 (例えば「1*03XXXXYYYY」)」、「マイ番号 + * + 短縮番号 (例えば「1**006」)」のように、先頭に「マイ番号 + *」を付けて発信する方法で、交換職の応答を確認することなく、マイ番号経由で直接発信することができます。

B) マイ番号にかけずに直接発信する

通常の電話機と同じように、「03-XXXX-YYYY」といった外線番号を直接ダイヤルして発信することも可能です。

この場合、「動作基本設定」の「全通話を定額プランで発信」の設定によって発信回線が異なってきます。

- ・ 「全通話を定額プランで発信」の設定が「利用する」になっている場合

発信は Bluetooth 接続された携帯電話のうち、「携帯電話会社」が「定額プラン」になっている携帯電話機経由で発信されます。

- ・ 「全通話を定額プランで発信」の設定が「利用しない」になっている場合

発信は、マイ番号 1 に対応する電話番号を使ってひかり電話経由で発信されます。

② ヒント

IP 内線において「90」などの特番をそのままダイヤルすると、「マイ番号 1 にダイヤルして交換職が応答後にダイヤルする」と同じ意味になります。例えば、「2*90」とした場合はマイ番号 2 の設定が変更されますが、「1*90」や「90」とダイヤルした場合はマイ番号 1 の設定が変更されます。

C) Bluetooth 接続された携帯電話経由で発信する

「0 + * + 外線番号 (例えば「0*03XXXXYYYY」)」、「0 + * + 短縮番号 (例えば「0**006」)」のように、先頭に「0 + *」を付けて発信すると、Bluetooth 接続された携帯電話のうち携帯電話会社が「定額プラン」に設定されている携帯を使って発信をすることができます。

D) 通話中に転送する

8 ページと同様の手順で実施することができます。

① ご確認下さい

交換機の「動作基本設定」において、「外線発信時のプッシュ操作」を「利用する」に設定している場合、発信時は 8 ページの手順で転送することができません。

2.4.3. 転送先の携帯電話で会社の電話番号を通知して電話をかける

①携帯電話から自分のダイヤルイン番号に電話します

自分のダイヤルイン
番号へ発信



発信する

②交換機が応答することを確認します

「こちらは交換機です」



外線番号や短縮番号をダイヤルする

③自分のダイヤルイン番号から発信されます

「トゥルルル
ルル・・・」



2.4.4. 転送先の携帯電話から会社に電話をかける

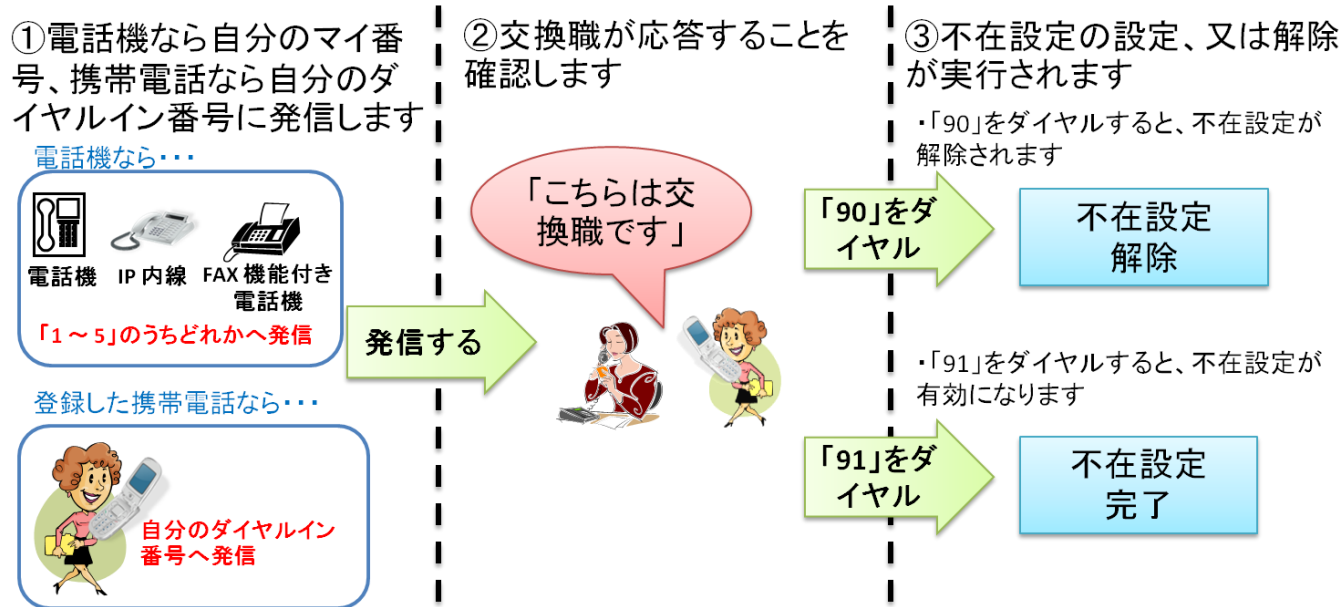
交換機に接続した発着信用の携帯電話の番号に発信し、会社の電話機を鳴らして下さい。

交換機にスピーカを接続している場合、「マイ番号 X からお電話が入っています (X は 1 ～ 5 のマイ番号)」というスピーカからのガイダンスで、社員からの電話であることを内勤の方へお知らせします。

発着信用の携帯電話を交換機に接続しない場合、ひかり電話の自分ダイヤルイン番号に発信し、交換機が応答後に「#」を押して、会社の電話機を鳴らして下さい。このとき、交換機にスピーカを接続していれば、スピーカからのガイダンスで、社員からの電話であることを内勤の方へお知らせします。

3. ■ 特番を利用する

3.1. 不在設定・解除（90、91）



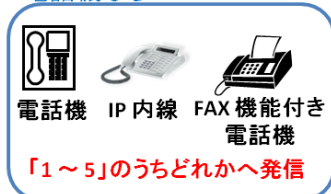
① ヒント

不在設定を設定すると、電話機が鳴らずに、携帯電話への転送や留守番電話の応答が実行されます。

3.2. 電話機の呼び出し時間の変更 (92)

- ① 電話機なら自分のマイ番号、携帯電話なら自分のダイヤルイン番号に発信します
- ② 交換職が応答することを確認します
- ③ 呼び出し時間を設定する旨のガイダンスを聞きます

電話機なら...



登録した携帯電話なら...



発信する

「こちらは交換職です」

「92」をダイヤル

呼び出し時間を設定します

④へ

- ④ 呼び出し時間に設定する2桁の数字をダイヤルします(8秒なら「0」「8」の2桁)

- ⑤ 電話機の呼び出し時間が変更されます

ガイダンスをきく

0～9の数字
数字

0～9の数字
数字

「ピッ、ピッ」

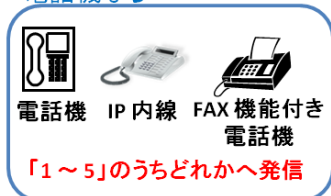
設定完了のガイダンスを聞く

呼び出し時間
設定完了

3.3. 携帯電話の呼び出し時間の変更（93）

- ①電話機なら自分のマイ番号、
携帯電話なら自分のダイヤル
イン番号に発信します
- ②交換職が応答することを
確認します
- ③呼び出し時間を設定する旨
のガイダンスを聞きます

電話機なら...



発信する

「こちらは交
換職です」



「93」をダ
イヤル

呼び出し時
間を設定し
ます



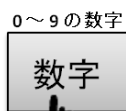
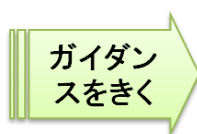
④へ

登録した携帯電話なら...

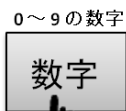


- ④呼び出し時間に設定する2桁の数字をダイ
ヤルします(8秒なら「0」「8」の2桁)

- ⑤電話機の呼び出し時間に変更されま
す

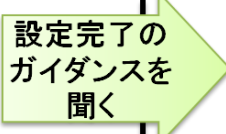


0～9の数字



0～9の数字

「ピッ、ピッ」



呼び出し時間
設定完了

3.4. 着信先ガイダンスの音声の入れ替え（94）

① 電話機なら自分のマイ番号、
携帯電話なら自分のダイヤル
イン番号に発信します

電話機なら・・・



「1～5」のうちどれかへ発信

登録した携帯電話なら・・・



発信する

② 交換職が応答すること
を確認します

「こちらは交
換職です」

「94」をダ
イヤル

③ 着信先ガイダンスのメニュー
が応答します

着信先ガイ
ダンスのメ
ニューです

④へ

④ 「1～3」を押して、録音、再生、削除を実施します

「1」を押す

・ガイダンスに従い、自分の音声
を録音します

「～宛の電
話です」

「2」を押す

・自分宛の着信先ガイダンスに利用す
る音声が生産されます

「～宛の電
話です」

「3」を押す

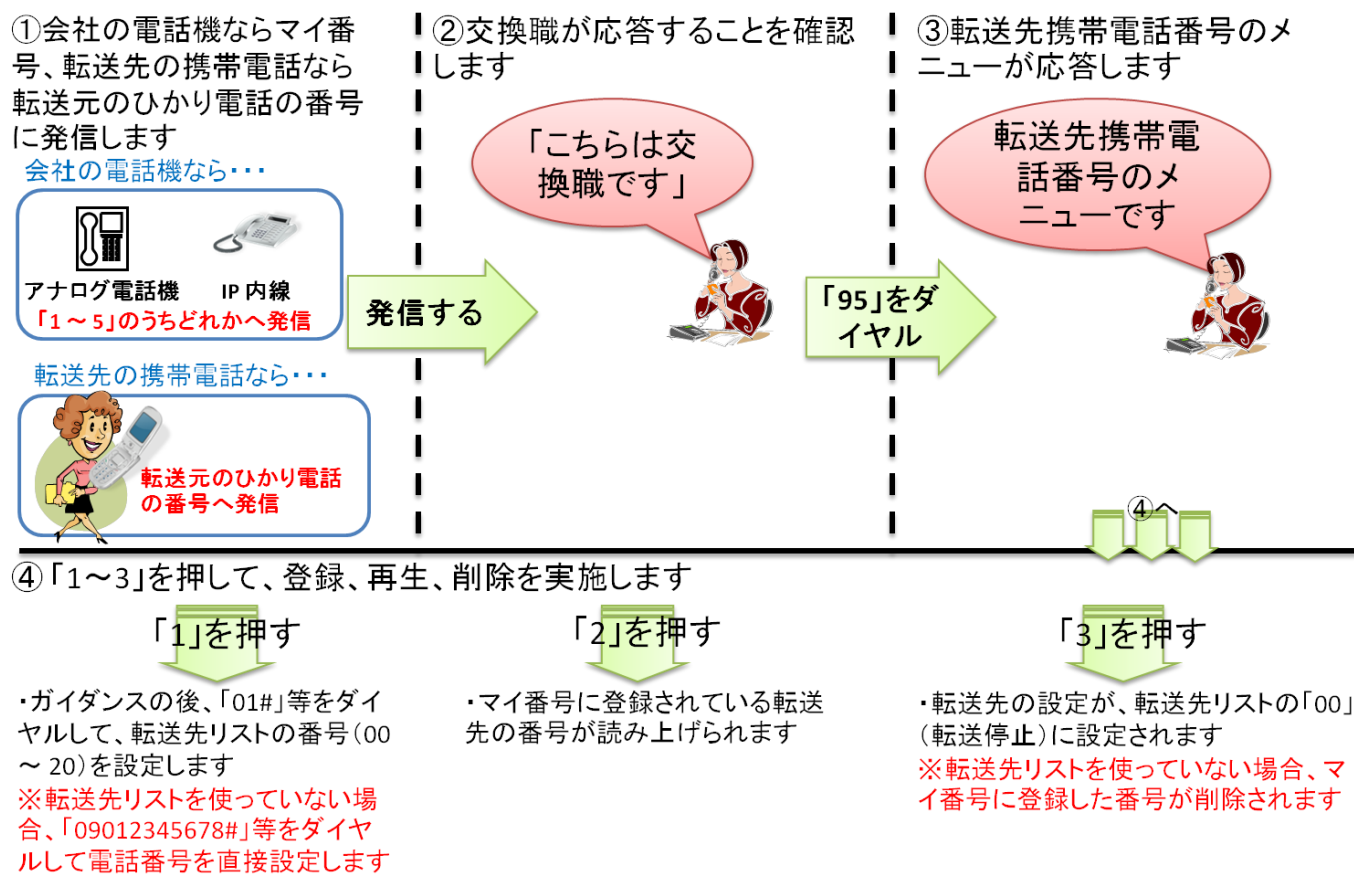
・登録済みの音声が生産されます

「生産され
ました」

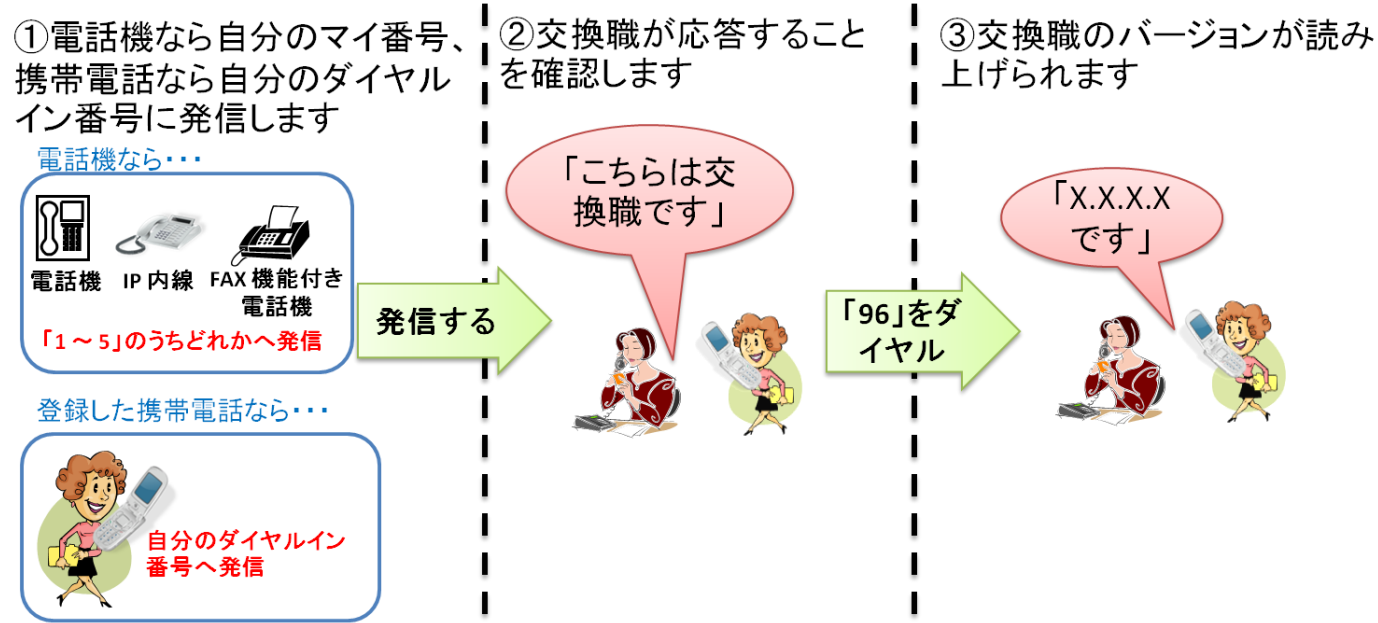
② ヒント

何も録音していない、初期状態の着信先ガイダンスは、「マイ番号 X にお電話が入っています」です。

3.5. 携帯番号登録 (95)



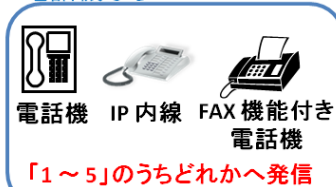
3.6. 交換職のバージョン読み上げ (96)



3.7. 交換職の IP アドレス読み上げ (97)

①電話機なら自分のマイ番号、携帯電話なら自分のダイヤルイン番号に発信します

電話機なら・・・



登録した携帯電話なら・・・



発信する

②交換職が応答することを確認します

「こちらは交換職です」



「97」をダイヤル

③交換職の IP アドレスが読み上げられます

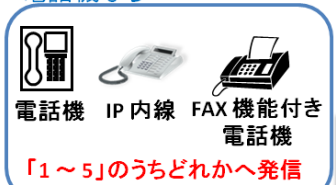
「192.168.X.X です」



3.8. 交換職の時刻設定 (98)

①電話機なら自分のマイ番号、携帯電話なら自分のダイヤルイン番号に発信します

電話機なら・・・



登録した携帯電話なら・・・



発信する

②交換職が応答することを確認します

「こちらは交換職です」



「98」をダイヤル

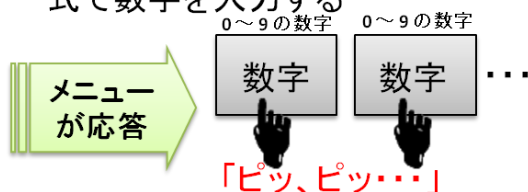
③時刻設定のメニューが応答します

現在時刻の設定を行います



④へ

④西暦から「YYYYMMDDHHMMSS」の形式で数字を入力する



例.
「2010年09月01日12時00分00秒」を設定する場合、「20100901120000」を入力する

⑤時刻設定が完了します

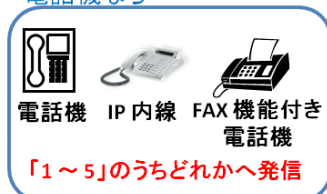
設定した日時
のガイダンスを聞く

時刻設定完了

3.9. 留守番電話メニュー（99）

①電話機なら自分のマイ番号、携帯電話なら自分のダイヤルイン番号に発信します

電話機なら・・・



登録した携帯電話なら・・・



発信する

②交換職が応答することを確認します

「こちらは交換職です」



「99」をダイヤル

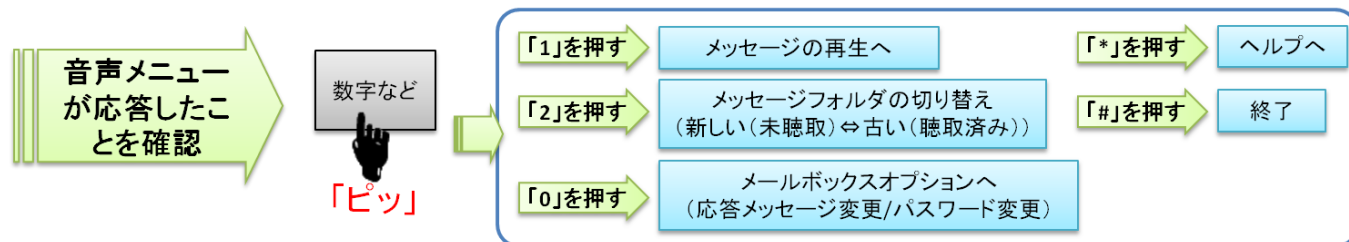
③留守番電話の音声メニューが応答することを確認します

「あなたには・・・」



④へ

④音声メニューに従って、録音されたメッセージの聴取や削除、コールバック、不在時の応答メッセージの変更を実施します



- ・マイ番号（ダイヤルイン番号）毎に、新しいメッセージ（聴取済み）と古いメッセージ（未聴取）をそれぞれ 30 件ずつ保存することができます。
- ・交換職にはマイ番号毎に留守番電話があります。同じ留守番電話には同時に 1 人しかアクセスできません。
- ・聴取した新しいメッセージは、古いメッセージフォルダへ自動的に移動します。
- ・古いメッセージが削除されずに 30 件溜まると、新しいメッセージを聴取しても古いメッセージのフォルダに移動されません。
- ・新しいメッセージに未聴取のメッセージが 30 件溜まると、新規に留守番電話を録音できなくなります。留守番電話のメッセージは定期的に確認、及び削除を行って下さい。
- ・メールボックスオプションでパスワードを設定すると、③でパスワードの入力を求められるので入力して下さい。

④の詳細な操作は次の通りです。

- メッセージの再生

再生したいメッセージフォルダで「1」を押すと、現在のフォルダの一番古いメッセージを聞くことができます。メッセージを聞いた後、そのまま続けてボタンを押すことで次の操作ができます。

「0」：メールボックスオプション

「1」：現在のフォルダの一番古いメッセージを再生

「2」：メッセージフォルダの変更

「3」：詳細オプション

「詳細オプション」選択後、続けてボタンを押すことで、次の操作ができます。

> 「2」：留守番電話を録音した相手にコールバックします

> 「3」：留守番電話が録音された日時、発信者番号を聞くことができます

> 「*」：メインメニューに戻る

「4」：前のメッセージを聞く

「5」：もう一度、再生したメッセージを聞く

「6」：次のメッセージを聞く

「7」：再生したメッセージを削除する、又は削除を取り消す

「*」：ヘルプ

「#」：終了

● メッセージフォルダの切り替え

留守番電話の音声メニューのガイダンスの中で、「1」を押すと「新しい」又は「古い」どちらのメッセージが再生されるかのガイダンスが流れます。再生等を実施するメッセージを変更したい場合は「2」を押して、現在のフォルダを切り替えて下さい。

● メールボックスオプション

留守番電話の音声メニューが応答した後「0」を押すと、メールボックスオプションの音声メニューが応答します。続けてボタンを押すことで次の操作ができます。

「1」：不在時の応答メッセージの変更

「2」：パスワード変更

「*」：メインメニューに戻る

- ヘルプ

留守番電話の音声メニューが応答した後「*」を押すと、再度音声メニューのガイダンスを聞くことができます。

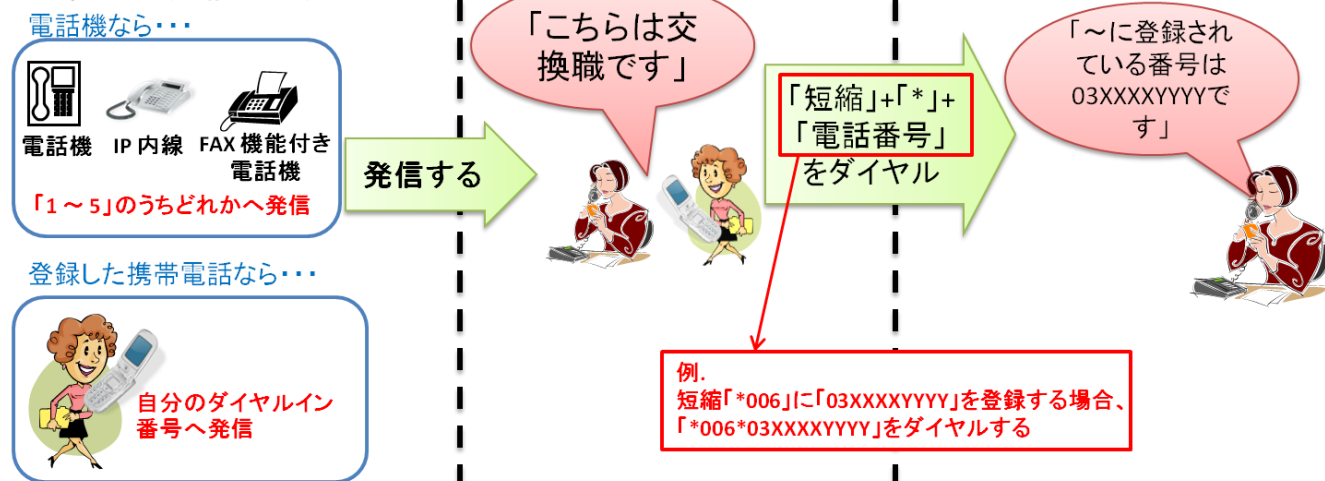
- 終了

留守番電話の音声メニューが応答した後「#」を押すと、留守番電話メニューを終了して電話が切断されます。

4. ■ 短縮番号を設定する

4.1. 電話機から短縮番号を設定する

- ① 電話機なら自分のマイ番号、携帯電話なら自分のダイヤルイン番号に発信します
- ② 交換機が応答することを確認します
- ③ 短縮ダイヤルの番号と登録された電話番号のガイダンスを聞きます



② ヒント

短縮番号「*006」～「*070」はマイ番号 1 ～ 5 の全ユーザ共通で利用します。
短縮番号「*200」～「*999」は各マイ番号のユーザ個別に利用します。
上記以外の短縮番号は電話機からは設定できません。

4.2. Web 設定画面から共有の短縮番号を設定する

1. 交換機の「Web 設定画面」のメニューで「短縮番号設定」をクリックして「共有短縮番号設定画面」を表示します。

② ヒント

「共有短縮番号設定画面」では *006 ～ *070 の短縮番号のみ設定可能です。

共有短縮番号設定

短縮番号	名前	電話番号	編集
*001	チャットボイス太郎	08012345678	編集
*002	マイ番号2の携帯		編集
*003	マイ番号3の携帯		編集
*004	マイ番号4の携帯		編集
*005	マイ番号5の携帯		編集
*006			編集
*007			編集
*008			編集
*009			編集
*010			編集

短縮番号を設定するときは、「編集」ボタンをクリックする

2. 設定する短縮番号の「編集」ボタンをクリックすると、「短縮番号 編集 - XXX 画面 (XXX は短縮番号)」が表示されます。「名前」と「電話番号」を設定したら「次へ」をクリックして下さい。

短縮番号 編集 - 006

短縮番号情報

短縮番号 ? *006

名前 ? XXXXXX商事

電話番号 ? 0611112222

短縮番号に対応する相手の名前を入力してください。

※この欄に入力した名前は、通知メールに表示されるようになります

短縮番号に登録する電話番号を入力してください。

戻る リセット 次へ

3. 次のような確認画面が表示されるので、正しいことを確認して「設定保存」をクリックして下さい。

短縮番号 編集 - 006

短縮番号情報

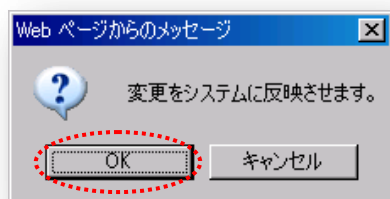
短縮番号 *006

名前 XXXXXX商事

電話番号 0611112222

戻る 設定保存

4. 次のダイアログが表示されるので、「OK」をクリックして下さい。



5. 以上の手順を繰り返して、必要な短縮番号を設定して下さい。

5. ■ 携帯電話の電話帳を取り込む

携帯電話の各キャリアから提供されている電話帳バックアップソフトや、携帯電話本体から SD カードへの電話帳コピー（バックアップ）機能などで取り出した vCard 形式のファイルを、一括で短縮番号に登録できます。登録した短縮番号は、「迷惑電話ブロック機能」や「通知メール機能」に利用されます。次の点にご注意ください。

- 1 件の電話帳データに複数の電話番号が登録されている場合、電話番号 1 つにつき 1 つの短縮番号が割り当てられます
- 読み込んだ順に最大 800 件までが取り込まれます、超過した分は取り込まれません
- 読み込んだ電話帳データに、同じ電話番号が複数個見つかった場合、1 つの短縮番号にまとめられます。その際名前は最後に読み込まれたものが利用されます
- 既に短縮番号に登録されている電話番号を再度取り込んだ場合、割り当てている短縮番号はそのままで名前が新しいものに上書きされます
- 各短縮番号の「削除」ボタンを押すと、その短縮番号に登録されているデータを空にする事ができます
- 「全件削除」ボタンを押すと、マイ番号に登録されている全ての短縮番号が空になります
- 電話機から特番を使って短縮番号の登録を上書きする場合は、名前と番号が不一致になる事がありますので十分ご注意ください
- Android 携帯をお使いの方で、端末から取り出した vCard が文字化けする場合は、Gmail のアドレス帳と同期させ Gmail の連絡先のメニューから vCard 形式でエクスポートしたファイルを使ってください

② ヒント

vCard 形式のファイルは、携帯電話のマニュアル等を参照し、SD カードへバックアップするなどの方法で準備して下さい。

SD カードへバックアップする方法で対応できない場合、以下の方法を参考にして下さい。（2011 年 1 月 31 日 現在の方法です）

●NTTdocomo の携帯電話の場合

- ①「ドコモケータイ datalink」ツールを利用し、取り込んだ携帯電話の電話帳を CSV 形式で書き出す
 - ②「vCard 作成ツール」で出力した CSV ファイルを vCard 形式に変換する
- という手順で作成できます。詳細は NTTdocomo のホームページをご確認下さい。

●SoftBank の携帯電話の場合

- ①「ソフトバンクユーティリティソフト」を利用し、取り込んだ携帯電話の電話帳をエクスポートする
 - ②電話帳 1 件につき vCard 形式のファイル 1 件がエクスポートされるため、それらをフリーソフト等で 1 つのファイルに纏める
- という手順で作成できます。詳細は SoftBank のホームページをご確認下さい。

●au の携帯電話の場合

- ①「au one アドレス帳」に、携帯電話の電話帳を保存する
 - ②「au one アドレス帳」のデータを「au one メール」にコピーする
 - ③「au one メール」の電話帳を vCard でエクスポートする
- という手順で作成できます。詳細は au のホームページをご確認下さい。

次の手順に従い、電話帳を取り込んで下さい。

1. 携帯電話等から vCard 形式の電話帳をパソコンに取り込んだ後、交換職の「Web 設定画面」のメニューで「利用者設定」をクリックし、電話帳を取り込むマイ番号の「電話帳登録」をクリックして下さい。

1:チャットボイス太郎	未設定	電話機ポート1	無効	08012345678 [発信元ガイダンスなし]	tarou@example.com [全ての着信時に通知]	電話帳登録	編集
2:利用しない	未設定	電話機ポート1	無効	なし	全ての着信時に通知	電話帳登録	編集

2. 「参照」を押して、vCard 形式のファイルを選択した後「取り込み内容確認」のボタンを押してください。

電話帳取り込み ?	<div>参照...</div> <div>取り込み内容確認</div>	全件削除	全件削除
--------------	--------------------------------------	------	------

3. 表示される画面の内容を確認して下さい。

【全て新規に登録する画面の例】

電話帳取り込み					
#	登録短縮番号	区分	電話番号	登録済みの名前	更新後の名前
1	200	新規	0311229876		交換職さん
2	201	新規	0311330001		有限会社 ひかり電話の転送装置
3	202	新規	0311330123		電話帳取り込み機能(株)
4	203	新規	0311339876		(株)迷惑電話ブロック機能
5	204	新規	0312340123		見本の名前株式会社
6	205	新規	0366668891		チャットボイス株式会社
7	206	新規	0612349876		有限会社サンプル名
8	207	新規	07012340000		サンプル名花子
9	208	新規	08012345678		ダミーネーム太郎
					<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="更新実行"/>

【追加で取り込む画面の例】

電話帳取り込み					
#	登録短縮番号	区分	電話番号	登録済みの名前	更新後の名前
1	200	更新	0311229876	交換職さん	交換職Liteさん
2	201	変更無し	0311330001	有限会社 ひかり電話の転送装置	有限会社 ひかり電話の転送装置
3	202	変更無し	0311330123	電話帳取り込み機能(株)	電話帳取り込み機能(株)
4	203	更新	0311339876	(株)迷惑電話ブロック機能	(株)迷惑電話ブロック機能 山田さん
5	209	新規	0311440001		無料転送さん
6	210	新規	0311440123		株式会社 vCard 取込
7	211	新規	0311449876		名前の見本さん

② ヒント

区分が「更新」 : 既に登録済みの電話番号で、名前が更新されるもの
 区分が「変更無し」 : 既に登録済みの電話番号で、変更が無いもの

【登録件数 800 件をオーバーした画面の例】

6. ■通知メールを利用する

6.1. 通知メールを確認する

①通知メールを受信します

○受信する通知メールの例	
【件名】[着信お知らせ]～さんから着信あり	
【本文】	
～さんから着信がありました	
相手の電話番号	
短縮ダイヤル	03XXXXYYYY
着信日時	*071
着信した番号	2010/08/23 21:44:33
通話状況	03YYYYXXXX
留守電録音	電話機で通話(604 秒)
	あり



メールを
開く

②通知メールの内容を確認します

○受信する通知メールの例	
【件名】[着信お知らせ]～さんから着信あり①	
【本文】	
～さんから着信がありました	
相手の電話番号	
短縮ダイヤル	03XXXXYYYY②
着信日時	*071③
着信した番号	2010/08/23 21:44:33④
通話状況	03YYYYXXXX⑤
留守電録音	電話機で通話(604 秒)⑥
	あり⑦

- ① 短縮番号や電話帳に登録のある番号からの着信では登録した名前が表示され、登録が無い場合は発信者の電話番号が表示される
- ② 発信者の電話番号
- ③ 折返し電話を掛ける時に利用する短縮番号
- ④ 着信した日時
- ⑤ 着信したひかり電話の番号
- ⑥ 着信に対する通話の状況
- ⑦ 留守電話に録音されたかどうか

② ヒント

交換職を導入したあなたの会社に電話をかけてきた「相手の電話番号」は、交換職の着信履歴に残り、自動的に短縮番号に登録されます。コールバックする際にご利用いただくと便利です。着信履歴の短縮番号は、「*099 ～ *071、*000」をラウンドロビンで利用します。

6.2. マイ番号に登録した携帯電話からコールバックする

①携帯電話から自分のダイヤルイン番号に電話します

自分のダイヤルイン
番号へ発信



発信する

②交換機が応答することを確認します

「こちらは交換機です」



通知メールに記載された短縮ダイヤルを入力する

○受信する通知メールの例

【件名】[着信お知らせ]～さんから着信あり
【本文】

～さんから着信がありました
相手の電話番号

03XXXXXXYY

短縮ダイヤル

*071

着信日時

2010/08/23 21:44:33

着信した番号

03YYYYXXXX

通話状況

電話機で通話(604 秒)

留守電録音

あり

③自分のダイヤルイン番号からコールバックが実行されます

「トゥルルル
ルル・・・」



② ヒント

留守番電話を聞いてからコールバックする場合は、留守番電話メニューの詳細オプションから実施すると便利です。

7. ■ 「WEB 設定画面」 のログインパスワードを変更する

⚠️ ご注意下さい

変更したパスワードを忘れると、Web 設定画面にアクセスが出来なくなります。メモを取るなどして絶対に忘れないようにして下さい。

1. 交換職の「Web 設定画面」のメニューから、「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、「現在のパスワード」と「新しいパスワード」「新しいパスワード（確認用）」を入力した後、「パスワード変更の実行」をクリックして下さい。

パスワード	パスワード変更 ?	Web ログイン用のパスワードを変更します 現在のパスワードを入力してください 新しいパスワードを入力してください。 確認のため、同じものを2回入力して実行ボタンを押してください パスワード変更の実行
	停止 ?	交換職を停止します。

2. 次の画面に切り替わるので、「システム管理画面」などに切り替えて下さい。

システム管理

管理画面のパスワードを変更しました。
別のページに移動すると、新しいパスワードが要求されます。

3. ログインパスワードの入力を求められるので、新しいパスワードでログインして下さい。

192.168.1.254 へ接続

KouKanShoku のサーバー 192.168.1.254 にはユーザー名とパスワードが必要です。

警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

ユーザー名(U): admin

パスワード(P):

☐ パスワードを記憶する(R)

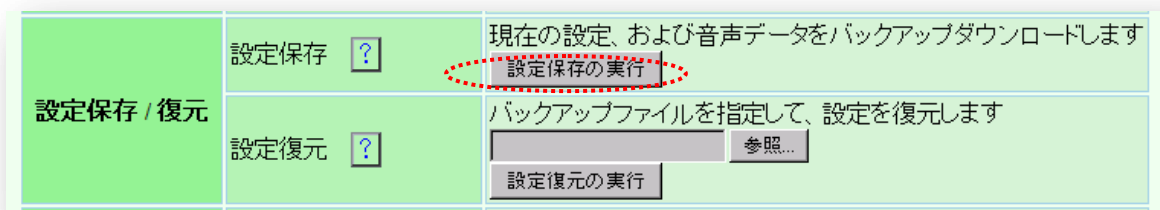
OK キャンセル

4. 以上で、ログインパスワードの変更は完了です。

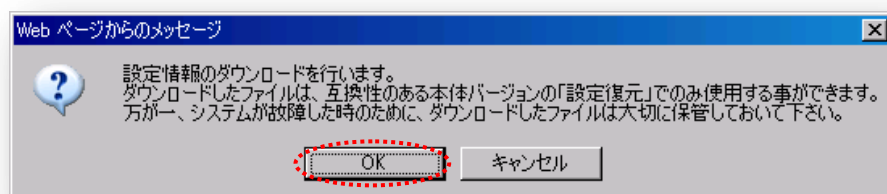
8. ■ 設定のバックアップと復元

8.1. 設定バックアップ

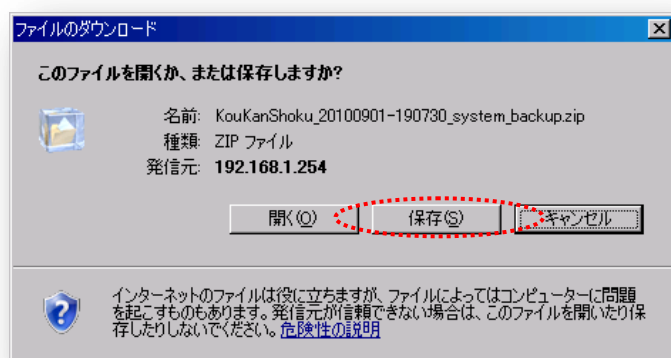
1. 交換職の「Web 設定画面」のメニューから、「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、「設定保存の実行」をクリックして下さい。



2. 次のダイアログが表示されるので、内容を確認して「OK」をクリックして下さい。



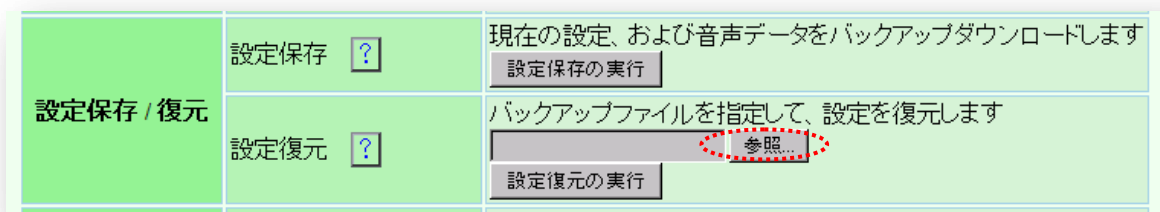
3. 次のダイアログが表示されるので、「保存」をクリックして適当な場所にバックアップファイルを保存して下さい。



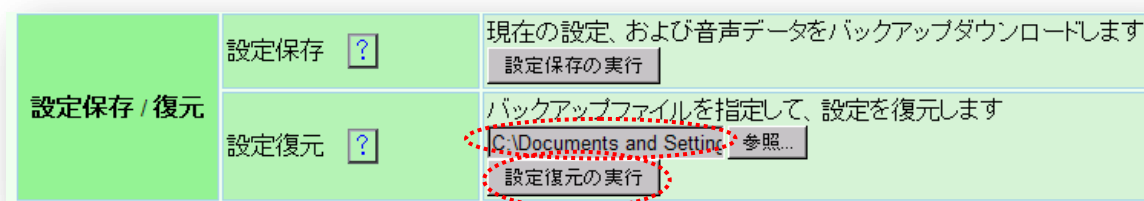
4. 以上で設定バックアップは完了です。

8.2. 設定の復元

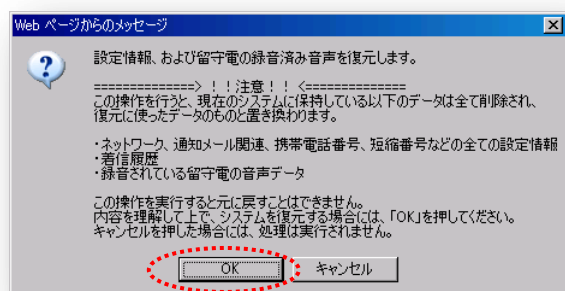
1. 交換職の「Web 設定画面」のメニューから、「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、「参照」をクリックして、バックアップした設定ファイルを指定して下さい。



2. 指定したファイルが選択されていることを確認して、「設定復元の実行」をクリックして下さい。



3. 次のダイアログが表示されるので、内容を確認して「OK」をクリックして下さい。



4. 次の画面に切り替わるので、「システム管理画面」に切り替えて下さい。

システム管理

設定をリストアしました。
今すぐ **システム管理** のページから、「再起動」を行ってください。

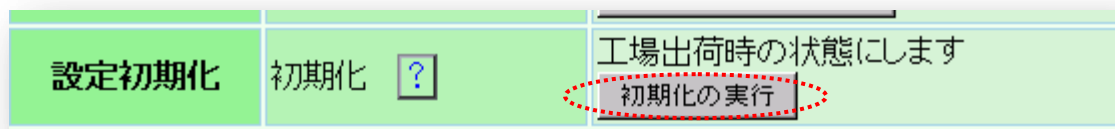
5. 最後に、3 ページを参照し、交換職の再起動を行って下さい。

8.3. 設定の初期化

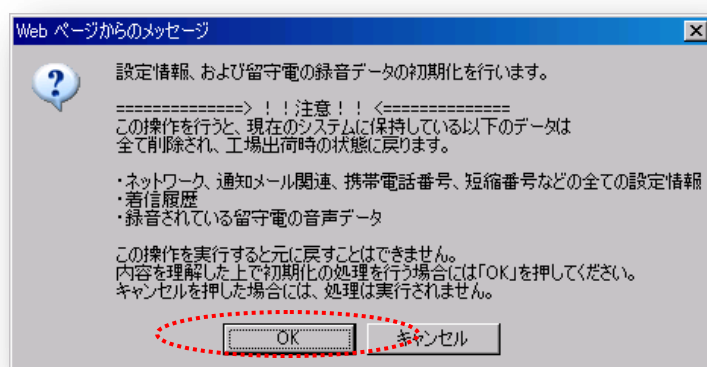
設定を初期化し、工場出荷時の状態にします。設定を最初からやり直したい場合などにご利用ください。

次の手順に従い、初期化して下さい。

1. 交換機の「Web 設定画面」のメニューから、「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、「初期化の実行」をクリックして下さい。



2. 次のダイアログが表示されるので、内容を確認して「OK」をクリックして下さい。



3. 次の画面に切り替わるので、「システム管理画面」に切り替えて下さい。

システム管理

設定を初期化しました。
今すぐ [システム管理](#) のページから、「停止」か「再起動」を行ってください。

4. 最後に 1 ページ、又は 3 ページを参照し、停止、又は再起動を行って下さい。

9. ■ファームウェアを更新する

1. 交換職の「Web 設定画面」のメニューから、「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、ファームウェアの項目の「参照」から適用するファームウェアを選択して下さい。

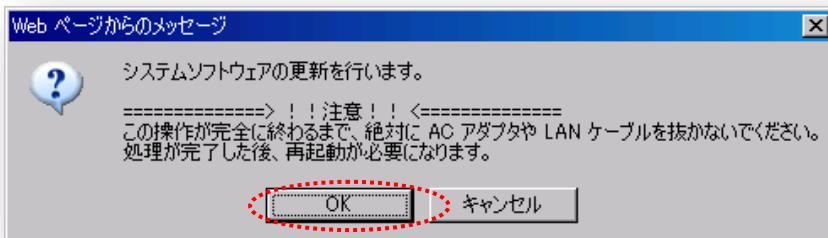
システム管理		
システム情報	システムバージョン 	1.0.1
	DBバージョン 	1
ログ取得	動作ログ 	現在保持されているログをダウンロードします。 
設定保存 / 復元	設定保存 	現在の設定、および音声データをバックアップダウンロードします 
	設定復元 	バックアップファイルを指定して、設定を復元します  
パスワード	パスワード変更 	Web ログイン用のパスワードを変更します 現在のパスワードを入力してください <input type="password"/> 新しいパスワードを入力してください。 確認のため、同じものを2回入力して実行ボタンを押してください <input type="password"/> <input type="password"/> 
停止 / 再起動	停止 	交換職を停止します。 
	再起動 	交換職を再起動します。 
設定初期化	初期化 	工場出荷時の状態にします 
ファームウェア	適用 	ファームウェアを適用して、システムに反映させます  

2. 適用するファームウェアが選択されたことを確認し、「ファームウェア適用の実行」をクリックして下さい。

システム管理

システム情報	システムバージョン	1.0.1
	DBバージョン	1
ログ取得	動作ログ	現在保持されているログをダウンロードします。
設定保存 / 復元	設定保存	現在の設定、および音声データをバックアップダウンロードします
	設定復元	バックアップファイルを指定して、設定を復元します
パスワード	パスワード変更	Web ログイン用のパスワードを変更します 現在のパスワードを入力してください <input type="password"/> 新しいパスワードを入力してください。 確認のため、同じものを2回入力して実行ボタンを押してください <input type="password"/>
停止 / 再起動	停止	交換職を停止します。
	再起動	交換職を再起動します。
設定初期化	初期化	工場出荷時の状態にします
ファームウェア	適用	ファームウェアを適用して、システムに反映させます

3. 次のダイアログが表示されるので、内容を確認して「OK」をクリックして下さい。



4. ファームウェアの更新が完了すると次のダイアログが表示されるので、「システム管理画面」に移動して下さい。

システム管理

完了しました。
今すぐ [システム管理](#) のページから、「再起動」を行ってください。

5. 3 ページを参照し、交換職の再起動を実施して下さい。

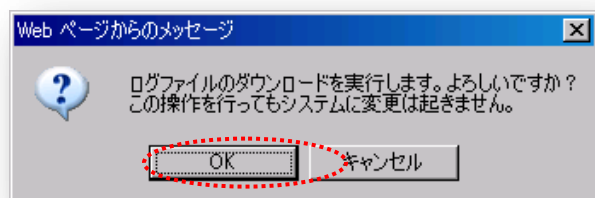
10. ■ ログを取得する

動作に問題がある場合や、保守サポートから依頼されて、ログの取得が必要になる事があります。

1. 交換職の「Web 設定画面」のメニューから、「システム管理」をクリックして「システム管理画面」を表示し、「ログダウンロードの実行」をクリックして下さい。

システム管理		
システム情報	システムバージョン ?	1.0.1
	DBバージョン ?	1
ログ取得	動作ログ ?	現在保持されているログをダウンロードします。 ログダウンロードの実行
設定保存 / 復元	設定保存 ?	現在の設定、および音声データをバックアップダウンロードします 設定保存の実行
	設定復元 ?	バックアップファイルを指定して、設定を復元します 参照... 設定復元の実行
パスワード	パスワード変更 ?	Web ログイン用のパスワードを変更します 現在のパスワードを入力してください 新しいパスワードを入力してください。 確認のため、同じものを2回入力して実行ボタンを押してください パスワード変更の実行
停止 / 再起動	停止 ?	交換職を停止します。 システム停止の実行
	再起動 ?	交換職を再起動します。 システム再起動の実行
設定初期化	初期化 ?	工場出荷時の状態にします 初期化の実行
ファームウェア	適用 ?	ファームウェアを適用して、システムに反映させます 参照... ファームウェア適用の実行

2. 次のダイアログが表示されるので、「OK」をクリックして適当なフォルダにログをダウンロードして下さい。



11. ■故障かな？と思ったら

11.1. 携帯電話へ転送されない

- 交換機の「Web 設定画面」で、「利用者設定」の「携帯電話番号」に正しい電話番号が登録されていることを確認して下さい。
- 転送時に利用する回線を「ひかり電話」に設定している場合は、ひかり電話の「ダブルチャネル」を契約していることを確認して下さい。
- 発着信用の携帯電話を接続している場合は、交換機の「Web 設定画面」から「システム状態表示」を選択して、「Bluetooth 接続状況」の「接続済み」が「Yes」となっていることを確認して下さい。
- 発着信用の携帯電話の「携帯電話会社」と、「利用者設定」でマイ番号に設定した「転送に利用する回線」を確認して、会社名が正しく設定されていることを確認して下さい。
- 交換機の「Web 設定画面」で、「利用者設定」の「携帯電話の呼び出し」に設定した時間を確認し、長めの時間を設定して再度転送されるかどうかを確認して下さい。
- 電話機の留守番電話や FAX が応答するタイミングを確認し、交換機の「Web 設定画面」の「利用者設定」の「電話機の呼び出し」で設定した、携帯電話へ転送が開始されるタイミングより前に、電話機が自動で応答しないようにして下さい。

11.2. 転送された電話を携帯電話で受けることができない

- 交換機の「Web 設定画面」で、「利用者設定」の「携帯電話の呼び出し」に設定した時間を確認し、長めの時間を設定して再度転送された電話に応答できるかどうかを確認して下さい。

11.3. FAX を受信できない

- ひかり電話ルータの Web 設定画面にログインして、「電話設定」>「内線設定」で内線番号「9」の編集ボタンをクリックして「内線設定(アナログ端末)」画面を開き、「エコー・キャンセラ」のチェックを外して再度動作を確認して下さい。
- FAX 検出機能を利用する場合で、FAX の受信開始までの時間が長すぎて、相手の機器が FAX の送信をあきらめてしまう場合、次のように設定して下さい。
 - ・「電話機の呼び出し」を可能な限り短い時間に設定する。
 - ・「FAX を受信する機器」の自動応答のタイミングを、「電話機の呼び出し」より少し長い時間に設定する。

11.4. 通知メールを受信できない

- 交換機の「Web 設定画面」で、「ネットワーク設定」の「メール関連」の設定に誤りが無いか確認して下さい。
- 交換機の「Web 設定画面」で、「利用者設定」の「メール通知条件」や「メールアドレス」に誤りが無いか確認して下さい。

11.5. 電話機が鳴らない

- 交換職の「Web 設定画面」の「利用者設定」の「不在設定」が設定されていると、電話機が鳴らずに留守番電話や携帯電話へ転送が実行されます。「不在設定」の設定状況を確認して下さい。
- ひかり電話ルータが再起動したなどの要因で、ひかり電話ルータと交換職のセッションが切れてしまった可能性があります。交換職を再起動し、電話機がなるかどうか確認して下さい。

11.6. 利用できていた電話番号に電話がかからなくなった

- ひかり電話ルータが再起動したなどの要因で、ひかり電話ルータと交換職のセッションが切れてしまった可能性があります。交換職を再起動し、電話機がなるかどうか確認して下さい。

11.7. 外線発信時に応答後転送機能が使えない

- 交換職の「Web 設定画面」の「動作基本設定」の「外線発信時のプッシュ操作」を「利用する」に設定していると、外線発信時に応答後転送機能を利用できません。外線発信時に応答後転送機能を利用する方は、「外線発信時のプッシュ操作」を「利用しない」に設定して下さい。

なお「利用しない」に設定した場合でプッシュ操作を行う場合は、マイ番号に発信して「交換職」が応答後にダイヤルする番号の最初に「9」を付けて下さい。

【最初に「9」を付ける例】

マイ番号（1～5）にダイヤルして「交換職」が応答後、次のように「9」を付けてダイヤルして下さい。

- ・「903-1234-5678」
- ・「9*001」



ご注意下さい

IP 内線からは一部のサービスでプッシュ操作ができない場合があります。IP 内線からプッシュ操作ができない場合は、アナログ電話機をご利用下さい。

11.8. 故障などで交換職の利用を中止する

交換職の AC アダプタを電源から抜き、交換職とひかり電話ルータを接続している LAN ケーブルを抜いて、交換職を取り外して下さい。

次に、ひかり電話ルータの「Web 設定画面」にアクセスし、「電話設定」 > 「内線設定」の順に選択して「内線設定画面」を表示し、1 段目の「アナログ端末(電話機 1)」を次のように設定して下さい。交換職経由で着信する設定から、交換職を経由せずに直接電話機に着信する設定になります。

内線設定(アナログ端末)

トップページ > 電話設定 > 内線設定 > 内線設定(アナログ端末)

内線設定(アナログ端末1)の設定を行います。

[内線設定]

内線番号

ニックネーム

[ひかり電話設定]

ナンバー・ディスプレイ ☒ 使用する

キャッチホン・ディスプレイ ☐ 使用する

モデムダイヤルイン ☐ 使用する

割込音通知 ☒ 使用する

ダイヤル桁間タイマ 秒

エコー・キャンセラ ☒ 使用する

[電話番号設定]

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能		指定なし着信	着信音選択
			使用する	指定着信番号		
0312345678	☎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="checkbox"/>	IR
0312345679	☎	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	IR
内線	-	-	-	-	-	-

ナンバー・ディスプレイに✓を入れる

指定着信機能の「使用する」の✓を外す

最後に「設定」ボタンを押して設定を反映します

[電話機 2] ポートで使う機器用以外の電話番号全てに✓を入れる

12. ■操作一覧

12.1. アナログ電話機、IP 内線の操作

【着信】

●着信先ガイダンスなし

受話器を上げると自動的に通話が開始される。

「接続音あり」：「ピン、ピン、ポーン」という音の後、通話開始

「接続音なし」：受話器を取るとすぐに通話開始、

※「接続音あり」の場合、受話器を上げてすぐに切れば、転送 又は 留守番電話

●着信先ガイダンスあり

受話器を上げて「マイ番号 X 宛て」を確認後、「1」～「3」のどれかを押す。

「1」：電話に応答

「2」：転送 又は 留守番電話

「3」：転送開始を遅らせる

※受話器を上げてすぐに切れば、転送 又は 留守番電話

【発信】

受話器を上げて「1」～「5」のマイ番号に発信し、「こちらは交換機です…」のガイダンスが流れ始めた後、

「任意の電話番号をダイヤル」：外線発信

「*006 などの短縮番号」：短縮発信

「0*任意の電話番号」または「0**006 などの短縮番号」：定額プランの携帯を使って発信

※マイ番号に発信せず、直接「03XXXXYYYY」等をダイヤルすることも可能

【特番操作】

受話器を上げて「1」～「5」のマイ番号に発信し、「こちらは交換機です…」のガイダンスを聞いた後、

「90」不在設定 OFF、「91」不在設定 ON、「92」電話機の呼び出し時間変更、「93」携帯の呼び出し時間変更、

「94」着信先ガイダンスの入れ替え、「95」転送先番号設定、「96」交換機のバージョン読み上げ、

「97」IP アドレス読み上げ、「98」時刻設定、「99」留守番電話のメニュー

【通話中に転送】

「通話中に * を押す」 > 「転送先の番号や短縮番号を押す」 > 「転送先の方と通話する(※1)」 >

「自分から切断する(※2)」 > 「転送完了」

※1：転送先が応答しない場合 # を押して転送をキャンセルして元の通話に戻る

※2：相手から切断するか # を押すと、転送をキャンセルして元の通話に戻る

【コールバック】

通知メールに記載されている「短縮ダイヤル」を使い発信する。

又は、交換機の「着信履歴」画面で「発信」ボタンを押し、アナログ電話機が鳴るので受話器を上げる。

12.2. 携帯電話（転送先）の操作

【着信】

●通常の携帯電話の着信

通常の携帯電話の着信時と同じ。

●転送された電話の着信（携帯電話回線で転送）

「発信元ガイダンス OFF」：応答ボタンを押し「ピン、ピン、ポーン」を聞いてから通話開始

「発信元ガイダンス ON」：応答ボタンを押し「～から」を聞いてから通話開始

※応答ボタンを押してすぐに切断ボタンを押せば、留守番電話

●転送された電話の着信（ひかり電話回線で転送）

「発信元ガイダンス OFF」：応答ボタンを押し「ピン、ピン、ポーン」を聞いてから通話開始

「発信元ガイダンス ON」：応答ボタンを押し、「1」で応答、「2」で留守番電話、「3」で応答を保留

※応答ボタンを押してすぐに切断ボタンを押せば、留守番電話

【発信】

通常の携帯電話の発信時と同じ。

※会社に電話をかける場合で「こちらは交換職...」というガイダンスに繋がる場合、ガイダンスの途中で # を押す

【特番操作】

1. 転送先リストに設定した番号から、会社のひかり電話の番号に発信する

（各マイ番号に直接転送先の番号を設定した場合は、転送元のひかり電話の番号に発信する）

2. 「こちらは交換職です...」という交換職のガイダンスを聞く

3. ↓をダイヤルする

「90」不在設定 OFF、「91」不在設定 ON、「92」電話機の呼び出し時間変更、「93」携帯の呼び出し時間変更、

「94」着信先ガイダンスの入れ替え、「95」転送先番号設定、「96」交換職のバージョン読み上げ、

「97」IP アドレス読み上げ、「98」時刻設定、「99」留守番電話のメニュー

【逆転送】

1. 転送先リストに設定した番号から、会社のひかり電話の番号に発信する

（各マイ番号に直接転送先の番号を設定した場合は、転送元のひかり電話の番号に発信する）

2. 「こちらは交換職です...」という交換職のガイダンスを聞く

3. 「短縮番号」や「外線番号」を押す

4. 「1.」で発信した番号を通知しての発信（逆転送）が実行される

【コールバック】

通知メールに記載されている「相手の電話番号」へ、携帯電話から直接発信する。

又は、通知メールの「短縮ダイヤル」を確認し、逆転送機能を利用する。

以上